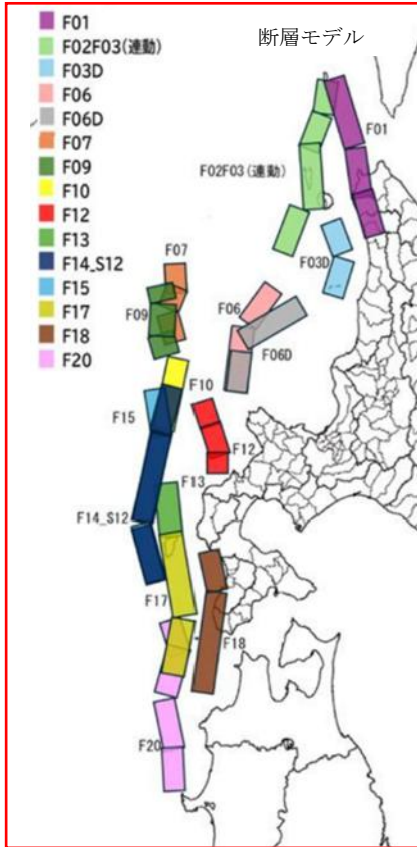
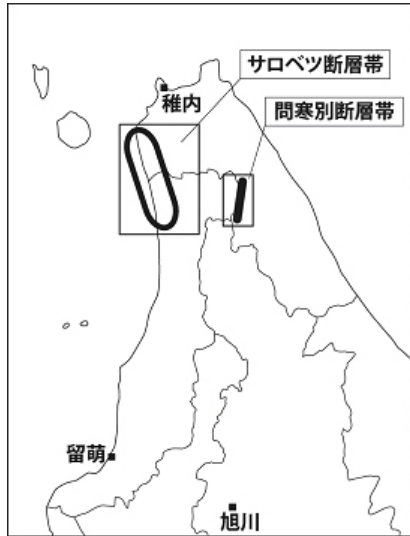
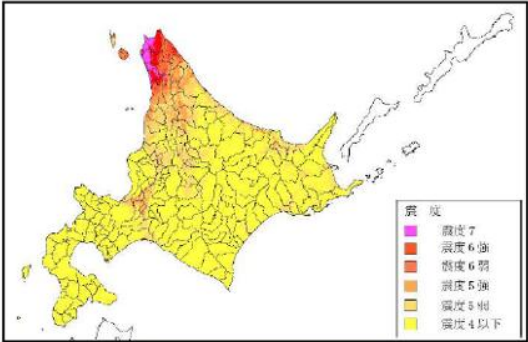
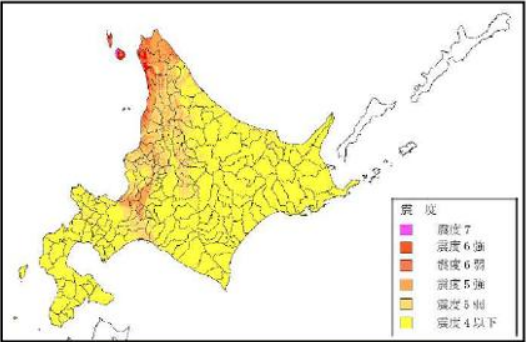
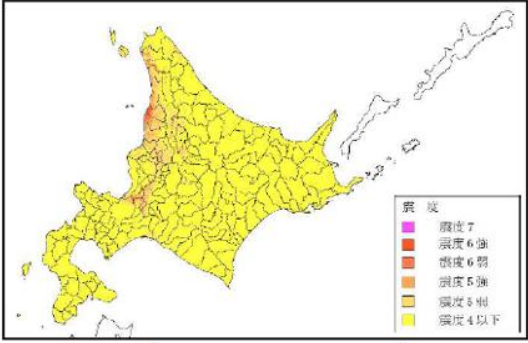
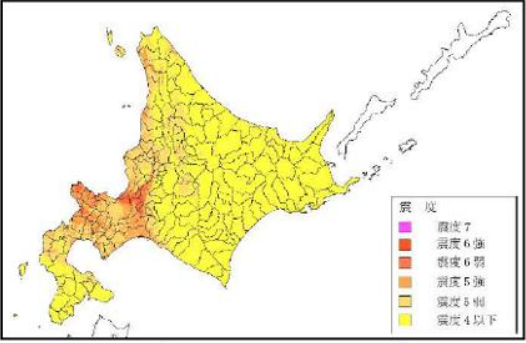
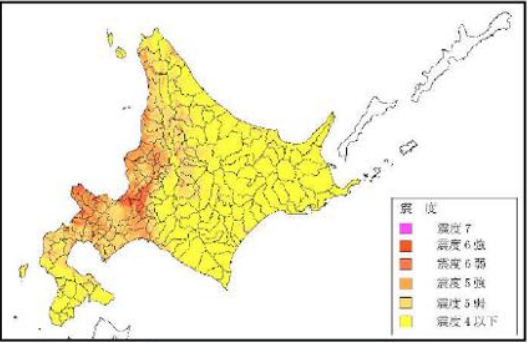
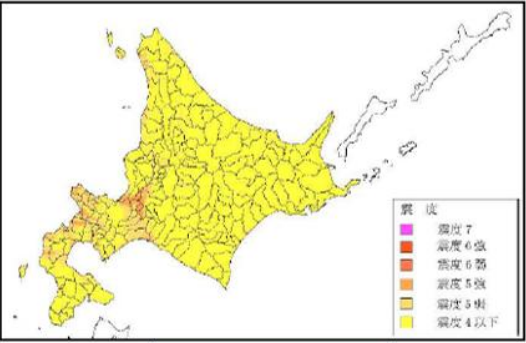


利尻町地域防災計画の一部改正に伴う新旧対照表

凡例・・・赤字：改正箇所

章	節	頁	変更内容	利尻町地域防災計画計画(R4. 4)	変更理由	区 分																														
1	5	15	第5節 地震・津波被害想定 1 利尻町周辺における地震、津波の発生状況 宗谷地方は、北海道の中でも地震の少ない地域である。北海道日本海側沿岸に影響を及ぼした過去の地震津波・災害を見ると、1940 年（昭和 25 年）の観測開始以来、主な津波は5 回程度で、震害はほとんどなかった。最近では、1993 年 7 月 12 日に発生した「北海道南西沖地震」で 80 cm、2024 年 1 月 1 日に発生した「能登半島地震」で 23 cm の津波を沓形港でそれぞれ観測した。 2 本町に影響を及ぼすおそれのある地震 北海道は、道の「地震防災対策における減災目標策定に関するワーキンググループ」において検討を行い、2017 年に「北海道日本海沿岸の津波浸水想定」で設定した、1 5 断層モデルの被害想定を令和 7 年度中に公表することを受けて、利尻町地域防災計画を次のように改正する。 【想定する断層モデル】 北海道が想定する断層モデルは1 5 であり、利尻町に被害をもたらすとされる断層モデルは6 とされ、被害想定が公表された。  （利尻町に被害をもたらすとされる地震(断層モデル)） ① F 0 1 ② F 0 2 F 0 3 (連動) ③ F 0 3 D ④ F 0 6 ⑤ F 0 6 D ⑥ F 0 9 〈最も被害が甚大な断層モデル〉 F 0 2 F 0 3 (連動) 〈最大津波高〉 9. 7 m 〈最大津波到達時間〉 7 分 〈サロベツ断層帯について〉 サロベツ断層帯は、天塩郡豊富町から同郡天塩町に至る断層帯で、全体の長さは約 44 km、おおむね北北西－南南東方向に延びている。本断層帯については、最新活動時期を特定できていないため、将来における地震発生の可能性について十分な検討ができない段階にあり、国においても、過去の活動履歴に結びつく資料の蓄積に努めているところである。 （サロベツ断層帯の長期評価の概要） <table><tr><th rowspan="2">断 層 帯 名</th><th rowspan="2">長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)</th><th colspan="3">地 震 発 生 確 率</th><th rowspan="2">我が国の主な活断層における相対的評価</th></tr><tr><th>30年以内</th><th>50年以内</th><th>100年以内</th></tr><tr><td>サロベツ断層帯</td><td>7.6程度</td><td>4％以下</td><td>7％以下</td><td>10%以下</td><td>我が国の主な活断層の中では高いグループに属する</td></tr></table>	断 層 帯 名	長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率			我が国の主な活断層における相対的評価	30年以内	50年以内	100年以内	サロベツ断層帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10%以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する	第5節 地震・津波被害想定 1 利尻町周辺における地震、津波の発生状況 宗谷地方は、北海道の中でも地震の少ない地域である。 北海道日本海側沿岸に影響を及ぼした過去の地震津波・災害を見ると、1940 年（昭和 25 年）の観測開始以来、主だった津波は5 回程度で、震害はほとんどなかった。最近では、1993 年（平成 5 年）7 月 12 日に発生した「北海道南西沖地震」で、沓形港で 80 cm の津波を観測した。 2 本町に影響を及ぼすおそれのある活断層 文部科学省の地震調査研究推進本部地震調査委員会の公表結果によると、現時点で町域に影響を及ぼすと考えられる断層は、サロベツ断層帯と間寒別断層帯である。 サロベツ断層帯は、天塩郡豊富町から同郡天塩町に至る活断層帯で、全体の長さは約 44 km、おおむね北北西－南南東方向に延びている。本断層帯については、最新活動時期を特定できていないため、将来における地震発生の可能性について十分な検討ができない段階にあり、国においても、過去の活動履歴に結びつく資料の蓄積に努めているところである。このため、今後、新たな知見があった場合には、必要に応じて、地震被害想定を見直すこととする。サロベツ断層帯の長期評価の概要については、次表のとおりであるが、この断層を震源とする地震が発生した場合、本町においても、場所によっては震度 5 強程度の揺れが想定されている。 また、間寒別断層帯の評価については、現時点（2020 年 1 月 1 日）ではなされていないため不明である。 <table><tr><th rowspan="2">断 層 帯 名</th><th rowspan="2">長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)</th><th colspan="3">地 震 発 生 確 率</th><th rowspan="2">我が国の主な活断層における相対的評価</th></tr><tr><th>30年以内</th><th>50年以内</th><th>100年以内</th></tr><tr><td>サ ロ ベ ツ 断 層 帯</td><td>7.6程度</td><td>4％以下</td><td>7％以下</td><td>10%以下</td><td>我が国の主な活断層の中では高いグループに属する</td></tr></table> ※ 国の地震調査委員会(文部科学省)が発表した、我が国の主な活断層における相対的評価は、「S」ランク(令和 4 年 1 月) 	断 層 帯 名	長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率			我が国の主な活断層における相対的評価	30年以内	50年以内	100年以内	サ ロ ベ ツ 断 層 帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10%以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する	日本海沿岸の地震・津波被害想定 の公表に伴う。	重 要
断 層 帯 名	長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率				我が国の主な活断層における相対的評価																														
		30年以内	50年以内	100年以内																																
サロベツ断層帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10%以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する																															
断 層 帯 名	長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)	地 震 発 生 確 率			我が国の主な活断層における相対的評価																															
		30年以内	50年以内	100年以内																																
サ ロ ベ ツ 断 層 帯	7.6程度	4％以下	7％以下	10%以下	我が国の主な活断層の中では高いグループに属する																															

章	項	頁	変更内容	利尻町地域防災計画計画 (R4. 4)	変更理由	区 分
			【震度分布】  断層モデル「F01」  断層モデル「F02F03」(連動)  断層モデル「F03D」  断層モデル「F06」  断層モデル「F06D」  断層モデル「F09」	3 利尻町における地震・津波の想定 (1) 基本的な考え方 北海道地域防災計画の「北海道における想定地震津波」に沿った考え方となる。 北海道は、1993年の北海道南西沖地震や2003年の十勝沖地震をはじめ、津波による多くの犠牲者と甚大な被害を被っている。 このため、津波発生時における住民の避難対策の強化を図るとともに、北海道沿岸地域に影響を及ぼす海域の地震による津波に対する対策の強化を図るため、想定される最大地震津波に対応した本道沿岸域における詳細な津波浸水予測及び被害想定を行ってきた。 2011年3月11日に発生した2011年東北地方太平洋沖地震を踏まえ、津波堆積物調査などの科学的知見により、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波の想定を行い、各海域の想定の見直しに取り組んでいくものとする。 利尻町は、北海道が示した日本海沿岸の地震による津波想定に準じた考え方を基本としている。 (2) 地震・津波の想定 北海道は、日本海沿岸の地震において影響の大きいと考えられる6つの想定地震を基にしたモデルを北海道地域防災計画（地震・津波防災計画編）で示している。 6つの想定地震のうち、利尻町に被害が及ぶと想定される地震は、北海道北西沖の沿岸側と沖側の2つの地震である。 ① 北海道北西沖（沿岸側）の地震 稚内市～初山別村及び積丹町、利尻町の海岸で津波水位が5mを超える場所もある。礼文島、利尻島、天売島、焼尻島は波源域に位置することから、地震発生直後津波が到達する。羽幌町以北でも地震発生後20分以内に初期水位から1m以上の水位上昇が生じる。 人的被害は、避難意識が低い場合で、構造物の効果がある場合には80～290人、構造物の効果がない場合には110人～340人の死者が発生し、特に稚内市、羽幌町で被害が大きい。建物被害は、全体で700棟弱～800棟強の全壊が生じ、特に稚内市では400棟弱～450棟強の全壊被害が発生する。 ② 北海道北西沖（沖側）の地震 礼文島の西海岸で10mを超える津波が到達するほか、津波水位が礼文島全海岸、利尻島、増毛町で5mを超え、石狩市以北で3m以上になる。1m以上の水位上昇が生じる時間は、最も早い礼文島で30分前後となる。 人的被害は、避難意識が低い場合で、構造物の効果がある場合には60～220人、構造物の効果がない場合には90～270人の死者が発生し、特に石狩市、小樽市、礼文町で被害が大きい。建物被害は、構造物の効果がある場合には900棟強の全壊が発生し、特に礼文町では400棟を超える全壊が発生する。構造物の効果がない場合では、稚内市で300棟強の全壊が発生し、全体では1,300棟強の全壊が発生する。		

章	節	頁	変更内容	利尻町地域防災計画計画 (R4. 4)	変更理由	区 分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			【被害想定】 ○人的被害 死者数(人)、負傷者数(人) <table><tr><th colspan="2" rowspan="3">断層モデル</th><th colspan="4">死者数</th><th colspan="2">負傷者数</th></tr><tr><th rowspan="2">建物倒壊</th><th colspan="2">津波</th><th rowspan="2">急傾斜地 崩壊</th><th rowspan="2">地震火災</th><th rowspan="2">避難意識高 +呼びかけ</th><th rowspan="2">避難意識低</th></tr><tr><th>早期避難率高 +呼びかけ</th><th>早期避難率低</th></tr><tr><td rowspan="3">F01</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td><td>20</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>30</td></tr><tr><td rowspan="3">F02F03 (連動)</td><td>夏・昼</td><td>20</td><td>70</td><td>160</td><td>—</td><td>—</td><td>130</td><td>150</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>90</td><td>120</td><td>170</td><td>—</td><td>—</td><td>290</td><td>290</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>90</td><td>130</td><td>160</td><td>—</td><td>—</td><td>380</td><td>380</td></tr><tr><td rowspan="3">F03D</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="3">F06</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="3">F06D</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="3">F09</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>20</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。「—」は5未満。「早期避難率高+呼びかけ」は津波避難ビル等を考慮した場合、「早期避難率低」は津波避難ビル等を考慮しない場合。 ○建物被害 全壊棟数(棟)、流水の漂着等を考慮した場合の津波による全壊棟数(棟)、津波火災の出火件数(件)、屋外落下物が発生する建物数(棟) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">断層モデル</th><th colspan="7">建物被害(全壊)</th><th rowspan="2">津波 火災</th><th rowspan="2">屋外 落下物</th></tr><tr><th>揺れ</th><th>液状化</th><th>津波</th><th>急傾斜地 崩壊</th><th>地震火災</th><th>合計</th><th>流水に よる増加</th><th>河氷に よる増加</th></tr><tr><td rowspan="3">F01</td><td>夏・昼</td><td>20</td><td>10</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>20</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>90</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>140</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>90</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>140</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td></tr><tr><td rowspan="3">F02F03 (連動)</td><td>夏・昼</td><td>500</td><td>10</td><td>60</td><td>—</td><td>—</td><td>580</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>510</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>960</td><td>10</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>1,000</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>970</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>960</td><td>10</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>1,000</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>970</td></tr><tr><td rowspan="3">F03D</td><td>夏・昼</td><td>10</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>20</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>40</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>40</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td></tr><tr><td rowspan="3">F06</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>10</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>10</td><td>10</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>50</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="3">F06D</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>10</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>10</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>10</td><td>80</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="3">F09</td><td>夏・昼</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夕</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>冬・夜</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>—</td><td>—</td><td>90</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。「—」は5未満。四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。	断層モデル		死者数				負傷者数		建物倒壊	津波		急傾斜地 崩壊	地震火災	避難意識高 +呼びかけ	避難意識低	早期避難率高 +呼びかけ	早期避難率低	F01	夏・昼	—	—	40	—	—	10	10	冬・夕	—	—	40	—	—	10	20	冬・夜	—	—	40	—	—	30	30	F02F03 (連動)	夏・昼	20	70	160	—	—	130	150	冬・夕	90	120	170	—	—	290	290	冬・夜	90	130	160	—	—	380	380	F03D	夏・昼	—	—	—	—	—	—	—	冬・夕	—	—	—	—	—	—	—	冬・夜	—	—	—	—	—	10	10	F06	夏・昼	—	—	30	—	—	—	10	冬・夕	—	—	30	—	—	—	10	冬・夜	—	—	30	—	—	—	10	F06D	夏・昼	—	—	80	—	—	—	10	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10	F09	夏・昼	—	—	70	—	—	—	20	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10	断層モデル		建物被害(全壊)							津波 火災	屋外 落下物	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	地震火災	合計	流水に よる増加	河氷に よる増加	F01	夏・昼	20	10	40	—	—	70	—	—	—	20	冬・夕	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100	冬・夜	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100	F02F03 (連動)	夏・昼	500	10	60	—	—	580	—	—	—	510	冬・夕	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970	冬・夜	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970	F03D	夏・昼	10	10	—	—	—	20	—	—	—	10	冬・夕	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30	冬・夜	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30	F06	夏・昼	—	10	30	—	—	40	—	—	—	—	冬・夕	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—	冬・夜	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—	F06D	夏・昼	—	10	80	—	—	100	—	—	—	—	冬・夕	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—	冬・夜	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—	F09	夏・昼	—	—	90	—	—	90	—	—	—	—	冬・夕	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—	冬・夜	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—	3 利尻町における地震・津波の想定 (1) 基本的な考え方 北海道地域防災計画の「北海道における想定地震津波」に沿った考え方となる。 北海道は、1993 年の北海道南西沖地震や 2003 年の十勝沖地震をはじめ、津波による多くの犠牲者と甚大な被害を被っている。 このため、津波発生時における住民の避難対策の強化を図るとともに、北海道沿岸地域に影響を及ぼす海域の地震による津波に対する対策の強化を図るため、想定される最大地震津波に対応した本道沿岸域における詳細な津波浸水予測及び被害想定を行ってきた。 2011 年 3 月 11 日に発生した 2011 年東北地方太平洋沖地震を踏まえ、津波堆積物調査などの科学的知見により、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波の想定を行い、各海域の想定の見直しに取り組んでいくものとする。 利尻町は、北海道が示した日本海沿岸の地震による津波想定に準じた考え方を基本としている。 (2) 地震・津波の想定 北海道は、日本海沿岸の地震において影響の大きいと考えられる 6 つの想定地震を基にしたモデルを北海道地域防災計画（地震・津波防災計画編）で示している。 6 つの想定地震のうち、利尻町に被害が及ぶと想定される地震は、北海道北西沖の沿岸側と沖側の 2 つの地震である。 北海道が想定している影響は次のとおりである。 ① 北海道北西沖（沿岸側）の地震 稚内市～初山別村及び積丹町、利尻町の海岸で津波水位が 5 mを超える場所もある。礼文島、利尻島、天売島、焼尻島は波源域に位置することから、地震発生直後津波が到達する。羽幌町以北でも地震発生後 20 分以内に初期水位から 1 m以上の水位上昇が生じる。 人的被害は、避難意識が低い場合で、構造物の効果がある場合には 80～290 人、構造物の効果がない場合には 110 人～340 人の死者が発生し、特に稚内市、羽幌町で被害が大きい。建物被害は、全体で 700 棟弱～800 棟強の全壊が生じ、特に稚内市では 400 棟弱～450 棟強の全壊被害が発生する。 ② 北海道北西沖（沖側）の地震 礼文島の西海岸で 10mを超える津波が到達するほか、津波水位が礼文島全海岸、利尻島、増毛町で 5 mを超え、石狩市以北で 3 m以上になる。 1 m以上の水位上昇が生じる時間は、最も早い礼文島で 30 分前後となる。 人的被害は、避難意識が低い場合で、構造物の効果がある場合には 60～220 人、構造物の効果がない場合には 90～270 人の死者が発生し、特に石狩市、小樽市、礼文町で被害が大きい。建物被害は、構造物の効果がある場合には 900 棟強の全壊が発生し、特に礼文町では 400 棟を超える全壊が発生する。構造物の効果がない場合では、稚内市で 300 棟強の全壊が発生し、全体では 1,300 棟強の全壊が発生する。		
断層モデル		死者数				負傷者数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		建物倒壊	津波			急傾斜地 崩壊	地震火災	避難意識高 +呼びかけ	避難意識低																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			早期避難率高 +呼びかけ	早期避難率低																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
F01	夏・昼	—	—	40	—	—	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夕	—	—	40	—	—	10	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夜	—	—	40	—	—	30	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
F02F03 (連動)	夏・昼	20	70	160	—	—	130	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夕	90	120	170	—	—	290	290																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夜	90	130	160	—	—	380	380																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
F03D	夏・昼	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夕	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夜	—	—	—	—	—	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
F06	夏・昼	—	—	30	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夕	—	—	30	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夜	—	—	30	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
F06D	夏・昼	—	—	80	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
F09	夏・昼	—	—	70	—	—	—	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夕	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	冬・夜	—	—	70	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
断層モデル		建物被害(全壊)							津波 火災	屋外 落下物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	地震火災	合計	流水に よる増加			河氷に よる増加																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
F01	夏・昼	20	10	40	—	—	70	—	—	—	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夕	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夜	90	10	30	—	—	140	10	—	—	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
F02F03 (連動)	夏・昼	500	10	60	—	—	580	—	—	—	510																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夕	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夜	960	10	40	—	—	1,000	30	—	—	970																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
F03D	夏・昼	10	10	—	—	—	20	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夕	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夜	40	10	—	—	—	50	—	—	—	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
F06	夏・昼	—	10	30	—	—	40	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夕	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夜	10	10	30	—	—	50	10	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
F06D	夏・昼	—	10	80	—	—	100	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夕	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夜	—	10	80	—	—	100	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
F09	夏・昼	—	—	90	—	—	90	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夕	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	冬・夜	—	—	90	—	—	90	30	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

章	節	頁	変更内容	利尻町地域防災計画計画 (R4. 4)	変更理由	区 分																																																																																																																																																																																																																												
			○生活への影響 避難者数(人)【冬・夕】 <table><tr><th rowspan="3">断層モデル</th><th colspan="7">避難者数</th></tr><tr><th rowspan="2">津波による 避難者</th><th colspan="3">避難者総数</th><th colspan="3">(うち)避難所避難者</th></tr><tr><th>直後</th><th>1日後</th><th>2日後</th><th>直後</th><th>1日後</th><th>2日後</th></tr><tr><td>F01</td><td>170</td><td>600</td><td>500</td><td>420</td><td>390</td><td>320</td><td>270</td></tr><tr><td>F02F03(連動)</td><td>190</td><td>1,400</td><td>1,400</td><td>1,400</td><td>940</td><td>920</td><td>880</td></tr><tr><td>F03D</td><td>－</td><td>320</td><td>230</td><td>230</td><td>210</td><td>150</td><td>150</td></tr><tr><td>F06</td><td>140</td><td>320</td><td>260</td><td>190</td><td>210</td><td>170</td><td>120</td></tr><tr><td>F06D</td><td>330</td><td>380</td><td>360</td><td>220</td><td>250</td><td>240</td><td>140</td></tr><tr><td>F07</td><td>－</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>F09</td><td>330</td><td>330</td><td>320</td><td>170</td><td>220</td><td>220</td><td>110</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入、「10,000以上」は百の位を四捨五入。「－」は5未満。津波による避難者は、避難者の受け入れが必要となる数として、浸水域内人口から死者数と重傷者数を除いて避難する者を推計。避難者総数は、内陸部(津波浸水域外)の避難者数と津波浸水域における避難者数を合計した値を推計。 要配慮者数(人)【冬・夕】 <table><tr><th rowspan="2">断層モデル</th><th colspan="9">要配慮者</th></tr><tr><th>65歳以上の高齢 単身者</th><th>5歳未満 乳幼児</th><th>身体 障がい者</th><th>知的 障がい者</th><th>精神 障がい者</th><th>要介護 認定者</th><th>難病患者</th><th>妊産婦</th><th>外国人</th></tr><tr><td>F01</td><td>30</td><td>10</td><td>20</td><td>－</td><td>－</td><td>20</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>F02F03(連動)</td><td>90</td><td>30</td><td>50</td><td>10</td><td>10</td><td>50</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>F03D</td><td>10</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>F06</td><td>10</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>F06D</td><td>10</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>F09</td><td>10</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入。「－」は5未満。 ○インフラ・ライフライン被害 道路・橋梁被害(箇所) <table><tr><th rowspan="2">断層モデル</th><th colspan="3">道路被害</th><th colspan="3">橋梁被害</th></tr><tr><th>津波浸水域内</th><th>津波浸水域外</th><th>合計</th><th>交通支障</th><th>不通</th><th>合計</th></tr><tr><td>F02F03(連動)</td><td>－</td><td>10</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>10</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入。「－」は5未満。四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。 上水道・下水道利用困難人数(人) <table><tr><th rowspan="2">断層モデル</th><th colspan="3">上水道断水人口</th><th>下水道支障人口</th></tr><tr><th>直後</th><th>1日後</th><th>2日後</th><th>直後</th></tr><tr><td>F01</td><td>1,100</td><td>660</td><td>640</td><td>70</td></tr><tr><td>F02F03(連動)</td><td>1,800</td><td>1,400</td><td>1,400</td><td>320</td></tr><tr><td>F03D</td><td>800</td><td>430</td><td>410</td><td>70</td></tr><tr><td>F06</td><td>520</td><td>290</td><td>270</td><td>30</td></tr><tr><td>F06D</td><td>240</td><td>150</td><td>140</td><td>30</td></tr><tr><td>F07</td><td>30</td><td>20</td><td>20</td><td>10</td></tr><tr><td>F09</td><td>30</td><td>20</td><td>20</td><td>10</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入、「10,000以上」は百の位を四捨五入。「－」は5未満。	断層モデル	避難者数							津波による 避難者	避難者総数			(うち)避難所避難者			直後	1日後	2日後	直後	1日後	2日後	F01	170	600	500	420	390	320	270	F02F03(連動)	190	1,400	1,400	1,400	940	920	880	F03D	－	320	230	230	210	150	150	F06	140	320	260	190	210	170	120	F06D	330	380	360	220	250	240	140	F07	－	20	20	20	10	10	10	F09	330	330	320	170	220	220	110	断層モデル	要配慮者									65歳以上の高齢 単身者	5歳未満 乳幼児	身体 障がい者	知的 障がい者	精神 障がい者	要介護 認定者	難病患者	妊産婦	外国人	F01	30	10	20	－	－	20	－	－	－	F02F03(連動)	90	30	50	10	10	50	10	－	－	F03D	10	－	10	－	－	10	－	－	－	F06	10	－	10	－	－	10	－	－	－	F06D	10	－	10	－	－	10	－	－	－	F09	10	－	10	－	－	10	－	－	－	断層モデル	道路被害			橋梁被害			津波浸水域内	津波浸水域外	合計	交通支障	不通	合計	F02F03(連動)	－	10	10	－	－	10	断層モデル	上水道断水人口			下水道支障人口	直後	1日後	2日後	直後	F01	1,100	660	640	70	F02F03(連動)	1,800	1,400	1,400	320	F03D	800	430	410	70	F06	520	290	270	30	F06D	240	150	140	30	F07	30	20	20	10	F09	30	20	20	10			
断層モデル	避難者数																																																																																																																																																																																																																																	
	津波による 避難者	避難者総数			(うち)避難所避難者																																																																																																																																																																																																																													
		直後	1日後	2日後	直後	1日後	2日後																																																																																																																																																																																																																											
F01	170	600	500	420	390	320	270																																																																																																																																																																																																																											
F02F03(連動)	190	1,400	1,400	1,400	940	920	880																																																																																																																																																																																																																											
F03D	－	320	230	230	210	150	150																																																																																																																																																																																																																											
F06	140	320	260	190	210	170	120																																																																																																																																																																																																																											
F06D	330	380	360	220	250	240	140																																																																																																																																																																																																																											
F07	－	20	20	20	10	10	10																																																																																																																																																																																																																											
F09	330	330	320	170	220	220	110																																																																																																																																																																																																																											
断層モデル	要配慮者																																																																																																																																																																																																																																	
	65歳以上の高齢 単身者	5歳未満 乳幼児	身体 障がい者	知的 障がい者	精神 障がい者	要介護 認定者	難病患者	妊産婦	外国人																																																																																																																																																																																																																									
F01	30	10	20	－	－	20	－	－	－																																																																																																																																																																																																																									
F02F03(連動)	90	30	50	10	10	50	10	－	－																																																																																																																																																																																																																									
F03D	10	－	10	－	－	10	－	－	－																																																																																																																																																																																																																									
F06	10	－	10	－	－	10	－	－	－																																																																																																																																																																																																																									
F06D	10	－	10	－	－	10	－	－	－																																																																																																																																																																																																																									
F09	10	－	10	－	－	10	－	－	－																																																																																																																																																																																																																									
断層モデル	道路被害			橋梁被害																																																																																																																																																																																																																														
	津波浸水域内	津波浸水域外	合計	交通支障	不通	合計																																																																																																																																																																																																																												
F02F03(連動)	－	10	10	－	－	10																																																																																																																																																																																																																												
断層モデル	上水道断水人口			下水道支障人口																																																																																																																																																																																																																														
	直後	1日後	2日後	直後																																																																																																																																																																																																																														
F01	1,100	660	640	70																																																																																																																																																																																																																														
F02F03(連動)	1,800	1,400	1,400	320																																																																																																																																																																																																																														
F03D	800	430	410	70																																																																																																																																																																																																																														
F06	520	290	270	30																																																																																																																																																																																																																														
F06D	240	150	140	30																																																																																																																																																																																																																														
F07	30	20	20	10																																																																																																																																																																																																																														
F09	30	20	20	10																																																																																																																																																																																																																														

章	節	頁	変更内容	利尻町地域防災計画計画 (R4. 4)	変更理由	区 分																																																																									
			下水道復旧予測日数(日) <table><tr><th rowspan="2">断層モデル</th><th colspan="2">下水道復旧予測日数</th></tr><tr><th>被災市町村の作業人員の1/4で復旧</th><th>被災市町村の作業人員の1/2で復旧</th></tr><tr><td>F01</td><td>1日以内</td><td>1日以内</td></tr><tr><td>F02F03(連動)</td><td>1週間程度</td><td>2-3日間程度</td></tr><tr><td>F03D</td><td>1日以内</td><td>1日以内</td></tr><tr><td>F06</td><td>1日以内</td><td>1日以内</td></tr><tr><td>F06D</td><td>1日以内</td><td>1日以内</td></tr><tr><td>F07</td><td>1日以内</td><td>1日以内</td></tr><tr><td>F09</td><td>1日以内</td><td>1日以内</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。 停電軒数(軒)【冬・夕】 <table><tr><th rowspan="2">断層モデル</th><th colspan="5">停電軒数</th></tr><tr><th>直後</th><th>1日後</th><th>2日後</th><th>3日後</th><th>1週間後</th></tr><tr><td>F01</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>30</td></tr><tr><td>F02F03(連動)</td><td>240</td><td>210</td><td>190</td><td>160</td><td>70</td></tr><tr><td>F03D</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>F06</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>20</td><td>20</td></tr><tr><td>F06D</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td></tr><tr><td>F09</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td></tr></table> ※ 被害が想定される断層モデルのみを記載。数値は「5以上1,000未満」は一の位を四捨五入、「1,000以上10,000未満」は十の位を四捨五入。	断層モデル	下水道復旧予測日数		被災市町村の作業人員の1/4で復旧	被災市町村の作業人員の1/2で復旧	F01	1日以内	1日以内	F02F03(連動)	1週間程度	2-3日間程度	F03D	1日以内	1日以内	F06	1日以内	1日以内	F06D	1日以内	1日以内	F07	1日以内	1日以内	F09	1日以内	1日以内	断層モデル	停電軒数					直後	1日後	2日後	3日後	1週間後	F01	40	40	40	40	30	F02F03(連動)	240	210	190	160	70	F03D	10	10	10	－	－	F06	30	30	30	20	20	F06D	80	80	80	80	80	F09	90	90	90	90	90			
断層モデル	下水道復旧予測日数																																																																														
	被災市町村の作業人員の1/4で復旧	被災市町村の作業人員の1/2で復旧																																																																													
F01	1日以内	1日以内																																																																													
F02F03(連動)	1週間程度	2-3日間程度																																																																													
F03D	1日以内	1日以内																																																																													
F06	1日以内	1日以内																																																																													
F06D	1日以内	1日以内																																																																													
F07	1日以内	1日以内																																																																													
F09	1日以内	1日以内																																																																													
断層モデル	停電軒数																																																																														
	直後	1日後	2日後	3日後	1週間後																																																																										
F01	40	40	40	40	30																																																																										
F02F03(連動)	240	210	190	160	70																																																																										
F03D	10	10	10	－	－																																																																										
F06	30	30	30	20	20																																																																										
F06D	80	80	80	80	80																																																																										
F09	90	90	90	90	90																																																																										
1	5	16	3 利尻町における地震・津波の想定 削 除	3 利尻町における地震・津波の想定 (1) 基本的な考え方 北海道地域防災計画の「北海道における想定地震津波」に沿った考え方となる。 北海道は、1993 年の北海道南西沖地震や 2003 年の十勝沖地震をはじめ、津波による多くの犠牲者と甚大な被害を被っている。 このため、津波発生時における住民の避難対策の強化を図るとともに、北海道沿岸地域に影響を及ぼす海域の地震による津波に対する対策の強化を図るため、想定される最大地震津波に対応した本道沿岸域における詳細な津波浸水予測及び被害想定を行ってきた。 2011 年 3 月 11 日に発生した 2011 年東北地方太平洋沖地震を踏まえ、津波堆積物調査などの科学的知見により、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波の想定を行い、各海域の想定の見直しに取り組んでいくものとする。 利尻町は、北海道が示した日本海沿岸の地震による津波想定に準じた考え方を基本としている。 (2) 地震・津波の想定 北海道は、日本海沿岸の地震において影響の大きいと考えられる 6 つの想定地震を基にしたモデルを北海道地域防災計画（地震・津波防災計画編）で示している。 6 つの想定地震のうち、利尻町に被害が及ぶと想定される地震は、北海道北西沖の沿岸側と沖側の 2 つの地震である。 北海道が想定している影響は次のとおりである。 ① 北海道北西沖（沿岸側）の地震 稚内市～初山別村及び積丹町、利尻町の海岸で津波水位が 5 m を超える場所もある。礼文島、利尻島、天売島、焼尻島は波源域に位置することから、地震発生直後津波が到達する。羽幌町以北でも地震発生後 20 分以内に初期水位から 1 m 以上の水位上昇が生じる。 人的被害は、避難意識が低い場合で、構造物の効果がある場合には 80～290 人、構造物の効果がない場合には 110 人～340 人の死者が発生し、特に稚内市、羽幌町で被害が大きい。建物被害は、全体で 700 棟弱～800 棟強の全壊が生じ、特に稚内市では 400 棟弱～450 棟強の全壊被害が発生する。 ② 北海道北西沖（沖側）の地震 礼文島の西海岸で 10m を超える津波が到達するほか、津波水位が礼文島全海岸、利尻島、増毛町で 5 m を超え、石狩市以北で 3 m 以上になる。 1 m 以上の水位上昇が生じる時間は、最も早い礼文島で 30 分前後となる。 人的被害は、避難意識が低い場合で、構造物の効果がある場合には 60～220 人、構造物の効果がない場合には 90～270 人の死者が発生し、特に石狩市、小樽市、礼文町で被害が大きい。建物被害は、構造物の効果がある場合には 900 棟強の全壊が発生し、特に礼文町では 400 棟を超える全壊が発生する。構造物の効果がない場合では、稚内市で 300 棟強の全壊が発生し、全体では 1,300 棟強の全壊が発生する。	第5節1項に包含。また、地震名称で今回は公表されず、断層モデルごとの公表のため。	重 要																																																																									

【資料編】

資料番号	変更内容	利尻町災害廃棄物処理計画 (R5. 3)	変更理由	区 分																																								
資料 13-2	1 3 - 2 民間企業・団体との協定一覧	1 3 - 2 民間企業・団体との協定一覧	令和 6 年度に締結した協定を追加するとともに欠落していた協定を追加	重 要																																								
	<table><tr><th>No. ←</th><th>協定名 ←</th><th>協定締結先 ←</th><th>協定の概要 ←</th></tr><tr><td>1 ←</td><td>災害時における利尻町と利尻建設協会との防災協定 ← (平成12年12月 1日) ←</td><td>利尻建設協会 ←</td><td>・ 災害時の警戒巡視 ← ・ 災害が発生するおそれがある場合又は災害が発生した場合の防災及び緊急対策その他必要な災害に関する情報の提供 ←</td></tr><tr><td>2 ←</td><td>災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定書 ← (平成22年 3月 4日) ←</td><td>北海道コカ・コーラボトリング株式会社 ←</td><td>・ 電光掲示板による地域情報、行政情報、災害情報、気象情報等の提供 ← ・ 自動販売機内在庫飲料の無償提供 ←</td></tr><tr><td>3 ←</td><td>災害等の発生時における利尻町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定 ← (平成22年 8月31日) ←</td><td>北海道エルピーガス災害対策協議会 ←</td><td>・ 被災場所における L P ガスの被害状況及び復旧状況の情報提供 ← ・ 被災場所における応急措置及び復旧工事 ← ・ 避難場所等への L P ガスの供給及び供給に必要な関連機器の設置工事 ← ・ L P ガス供給停止が長期となった場合の簡易コンロ等の手配 ← ・ 大規模火災現場における L P ガス設備の撤去等の安全対策 ← ・ その他甲が必要とする要請事項 ←</td></tr><tr><td>4 ←</td><td>災害時等協力協定 ← (平成25年 7月 3日) ←</td><td>一般財団法人北海道電気保安協会 ←</td><td>・ 公共施設の電力復旧のために必要な調査等の応急対策活動 ← ・ 公共施設の電力復旧工事の監督、指導及び検査 ← ・ その他、町が必要と認める応急対策活動 ←</td></tr></table>	No. ←	協定名 ←	協定締結先 ←	協定の概要 ←	1 ←	災害時における利尻町と利尻建設協会との防災協定 ← (平成12年12月 1日) ←	利尻建設協会 ←	・ 災害時の警戒巡視 ← ・ 災害が発生するおそれがある場合又は災害が発生した場合の防災及び緊急対策その他必要な災害に関する情報の提供 ←	2 ←	災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定書 ← (平成22年 3月 4日) ←	北海道コカ・コーラボトリング株式会社 ←	・ 電光掲示板による地域情報、行政情報、災害情報、気象情報等の提供 ← ・ 自動販売機内在庫飲料の無償提供 ←	3 ←	災害等の発生時における利尻町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定 ← (平成22年 8月31日) ←	北海道エルピーガス災害対策協議会 ←	・ 被災場所における L P ガスの被害状況及び復旧状況の情報提供 ← ・ 被災場所における応急措置及び復旧工事 ← ・ 避難場所等への L P ガスの供給及び供給に必要な関連機器の設置工事 ← ・ L P ガス供給停止が長期となった場合の簡易コンロ等の手配 ← ・ 大規模火災現場における L P ガス設備の撤去等の安全対策 ← ・ その他甲が必要とする要請事項 ←	4 ←	災害時等協力協定 ← (平成25年 7月 3日) ←	一般財団法人北海道電気保安協会 ←	・ 公共施設の電力復旧のために必要な調査等の応急対策活動 ← ・ 公共施設の電力復旧工事の監督、指導及び検査 ← ・ その他、町が必要と認める応急対策活動 ←	<table><tr><th>No. ←</th><th>協定名 ←</th><th>協定締結先 ←</th><th>協定の概要 ←</th></tr><tr><td>1 ←</td><td>災害時における利尻町と利尻建設協会との防災協定 ← (平成12年12月 1日) ←</td><td>利尻建設協会 ←</td><td>・ 災害時の警戒巡視 ← ・ 災害が発生するおそれがある場合又は災害が発生した場合の防災及び緊急対策その他必要な災害に関する情報の提供 ←</td></tr><tr><td>2 ←</td><td>災害等の発生時における利尻町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定 ← (平成22年 8月31日) ←</td><td>北海道エルピーガス災害対策協議会 ←</td><td>・ 被災場所における L P ガスの被害状況及び復旧状況の情報提供 ← ・ 被災場所における応急措置及び復旧工事 ← ・ 避難場所等への L P ガスの供給及び供給に必要な関連機器の設置工事 ← ・ L P ガス供給停止が長期となった場合の簡易コンロ等の手配 ← ・ 大規模火災現場における L P ガス設備の撤去等の安全対策 ← ・ その他甲が必要とする要請事項 ←</td></tr><tr><td>3 ←</td><td>災害時等協力協定 ← (平成25年 7月 3日) ←</td><td>一般財団法人北海道電気保安協会 ←</td><td>・ 公共施設の電力復旧のために必要な調査等の応急対策活動 ← ・ 公共施設の電力復旧工事の監督、指導及び検査 ← ・ その他、町が必要と認める応急対策活動 ←</td></tr><tr><td>4 ←</td><td>災害時における物資の緊急・救援輸送に関する協定 ← (平成28年 3月 1日) ←</td><td>一般社団法人旭川地区トラック協会 ←</td><td>物資の緊急・救援輸送 ←</td></tr></table>	No. ←	協定名 ←	協定締結先 ←	協定の概要 ←	1 ←	災害時における利尻町と利尻建設協会との防災協定 ← (平成12年12月 1日) ←	利尻建設協会 ←	・ 災害時の警戒巡視 ← ・ 災害が発生するおそれがある場合又は災害が発生した場合の防災及び緊急対策その他必要な災害に関する情報の提供 ←	2 ←	災害等の発生時における利尻町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定 ← (平成22年 8月31日) ←	北海道エルピーガス災害対策協議会 ←	・ 被災場所における L P ガスの被害状況及び復旧状況の情報提供 ← ・ 被災場所における応急措置及び復旧工事 ← ・ 避難場所等への L P ガスの供給及び供給に必要な関連機器の設置工事 ← ・ L P ガス供給停止が長期となった場合の簡易コンロ等の手配 ← ・ 大規模火災現場における L P ガス設備の撤去等の安全対策 ← ・ その他甲が必要とする要請事項 ←	3 ←	災害時等協力協定 ← (平成25年 7月 3日) ←	一般財団法人北海道電気保安協会 ←	・ 公共施設の電力復旧のために必要な調査等の応急対策活動 ← ・ 公共施設の電力復旧工事の監督、指導及び検査 ← ・ その他、町が必要と認める応急対策活動 ←	4 ←	災害時における物資の緊急・救援輸送に関する協定 ← (平成28年 3月 1日) ←	一般社団法人旭川地区トラック協会 ←	物資の緊急・救援輸送 ←		
No. ←	協定名 ←	協定締結先 ←	協定の概要 ←																																									
1 ←	災害時における利尻町と利尻建設協会との防災協定 ← (平成12年12月 1日) ←	利尻建設協会 ←	・ 災害時の警戒巡視 ← ・ 災害が発生するおそれがある場合又は災害が発生した場合の防災及び緊急対策その他必要な災害に関する情報の提供 ←																																									
2 ←	災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定書 ← (平成22年 3月 4日) ←	北海道コカ・コーラボトリング株式会社 ←	・ 電光掲示板による地域情報、行政情報、災害情報、気象情報等の提供 ← ・ 自動販売機内在庫飲料の無償提供 ←																																									
3 ←	災害等の発生時における利尻町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定 ← (平成22年 8月31日) ←	北海道エルピーガス災害対策協議会 ←	・ 被災場所における L P ガスの被害状況及び復旧状況の情報提供 ← ・ 被災場所における応急措置及び復旧工事 ← ・ 避難場所等への L P ガスの供給及び供給に必要な関連機器の設置工事 ← ・ L P ガス供給停止が長期となった場合の簡易コンロ等の手配 ← ・ 大規模火災現場における L P ガス設備の撤去等の安全対策 ← ・ その他甲が必要とする要請事項 ←																																									
4 ←	災害時等協力協定 ← (平成25年 7月 3日) ←	一般財団法人北海道電気保安協会 ←	・ 公共施設の電力復旧のために必要な調査等の応急対策活動 ← ・ 公共施設の電力復旧工事の監督、指導及び検査 ← ・ その他、町が必要と認める応急対策活動 ←																																									
No. ←	協定名 ←	協定締結先 ←	協定の概要 ←																																									
1 ←	災害時における利尻町と利尻建設協会との防災協定 ← (平成12年12月 1日) ←	利尻建設協会 ←	・ 災害時の警戒巡視 ← ・ 災害が発生するおそれがある場合又は災害が発生した場合の防災及び緊急対策その他必要な災害に関する情報の提供 ←																																									
2 ←	災害等の発生時における利尻町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定 ← (平成22年 8月31日) ←	北海道エルピーガス災害対策協議会 ←	・ 被災場所における L P ガスの被害状況及び復旧状況の情報提供 ← ・ 被災場所における応急措置及び復旧工事 ← ・ 避難場所等への L P ガスの供給及び供給に必要な関連機器の設置工事 ← ・ L P ガス供給停止が長期となった場合の簡易コンロ等の手配 ← ・ 大規模火災現場における L P ガス設備の撤去等の安全対策 ← ・ その他甲が必要とする要請事項 ←																																									
3 ←	災害時等協力協定 ← (平成25年 7月 3日) ←	一般財団法人北海道電気保安協会 ←	・ 公共施設の電力復旧のために必要な調査等の応急対策活動 ← ・ 公共施設の電力復旧工事の監督、指導及び検査 ← ・ その他、町が必要と認める応急対策活動 ←																																									
4 ←	災害時における物資の緊急・救援輸送に関する協定 ← (平成28年 3月 1日) ←	一般社団法人旭川地区トラック協会 ←	物資の緊急・救援輸送 ←																																									

資料番号	変更内容			利尻町災害廃棄物処理計画(R5.3)	変更理由	区分
	5 ←	災害時における物資の緊急・救援輸送に関する協定 ← (平成28年3月1日) ←	一般社団法人旭川地区トラック協会 ←	物資の緊急・救援輸送 ←		
	6 ←	利尻町と日本郵便株式会社利尻町内郵便局との包括的連携に関する協定 ← (平成30年4月20日) ←	日本郵便株式会社 ← 利尻くつがた郵便局 ←	・高齢者等の見守りに関すること。 ← ・道路損傷等の情報提供に関すること。 ← ・公共用地における不法投棄が疑われる廃棄物等の情報提供に関すること ← ・安心・安全な暮らしの実現に関すること。 ← ・地域経済活性化に関すること。 ← ・未来を担う子どもの育成に関すること。 ← ・その他、地域の活性化、住民サービス向上に関すること。 ←		
	7 ←	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定 ← (平成31年1月21日) ←	株式会社セコマ ←	商品の供給及び配送 ←		
	8 ←	災害発生時等における非常放送に関する協定 ← (令和2年4月1日) ←	株式会社エフエムわっかない ←	・災害情報放送 ← ・非常放送 ←		
	9 ←	利尻町とサッドラホールディングス株式会社との協働事業に関する協定書 (令和3年2月4日) ←	サッドラホールディングス株式会社 ←	・災害時における生活物資等の供給 ←		
	10 ←	まちづくりに関する包括連携協定書 ← (令和3年7月1日) ←	ヤマト運輸株式会社 ←	・災害対策に関すること。 ← ・物流の活性化に関すること。 ← ・観光支援及び地場産品等の販路拡大に関するこ		
	5 ←	利尻町と日本郵便株式会社利尻町内郵便局との包括的連携に関する協定 ← (平成30年4月20日) ←	日本郵便株式会社 ← 利尻くつがた郵便局 ←	・高齢者等の見守りに関すること。 ← ・道路損傷等の情報提供に関すること。 ← ・公共用地における不法投棄が疑われる廃棄物等の情報提供に関すること ← ・安心・安全な暮らしの実現に関すること。 ← ・地域経済活性化に関すること。 ← ・未来を担う子どもの育成に関すること。 ← ・その他、地域の活性化、住民サービス向上に関すること。 ←		
	6 ←	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定 ← (平成31年1月21日) ←	株式会社セコマ ←	商品の供給及び配送 ←		
	7 ←	災害発生時等における非常放送に関する協定 ← (令和2年4月1日) ←	株式会社エフエムわっかない ←	・災害情報放送 ← ・非常放送 ←		
	8 ←	利尻町とサッドラホールディングス株式会社との協働事業に関する協定書(令和3年2月4日) ←	サッドラホールディングス株式会社 ←	・災害時における生活物資等の供給 ←		

資料番号	変更内容				利尻町災害廃棄物処理計画(R5.3)	変更理由	区 分
				と。☞ ・環境維持及び保全に関すること。☞ ・地域福祉に関すること。☞ ・安全・安心な地域づくりに関すること。☞ ・その他甲の活性化に関すること。☞			
	11☞	大規模災害時における相互協力に関する基本協定(令和3年12月1日)☞	北海道電力株式会社(以下、「乙」という。)及び北海道電力ネットワーク株式会社☞	・情報の共有☞ ・復旧における相互協力☞ ・連絡体制の確立☞ ・連携訓練等の実施☞ ・重要施設の優先供給☞			
	12☞	災害時における応急仮設住宅(移動式木造住宅)の建設に関する協定書☞(令和6年5月16日)☞	一般社団法人日本ムービングハウス協会☞	・住宅建設会社の斡旋その他協力☞ ・住宅建設☞			
	13☞	利尻町と日本郵便株式会社利尻くつがた郵便局との津波時等における一時避難施設としての使用に関する協定書☞(令和6年8月27日)☞	日本郵便株式会社☞	・津波等による危険を回避するための一時避難施設としての使用☞			
	14☞	津波時等における一時避難施設としての使用に関する協定書☞(令和6年8月28日)☞	稚内信用金庫☞	・津波等による危険を回避するための一時避難施設としての使用☞			
	15☞	利尻町とアイランドインリシリ(札幌国際観光株式会社)との津波時等における一時避難施設としての使用に関する協定書☞(令和6年9月5日)☞	アイランドインリシリ(札幌国際観光株式会社)☞	・津波等による危険を回避するための一時避難施設としての使用☞			
	9☞	まちづくりに関する包括連携協定書☞(令和3年7月1日)☞	ヤマト運輸株式会社☞	・災害対策に関すること。☞ ・物流の活性化に関すること。☞ ・観光支援及び地場産品等の販路拡大に関すること。☞ ・環境維持及び保全に関すること。☞ ・地域福祉に関すること。☞ ・安全・安心な地域づくりに関すること。☞ ・その他甲の活性化に関すること。☞			
	10☞	大規模災害時における相互協力に関する基本協定(令和3年12月1日)☞	北海道電力株式会社(以下、「乙」という。)及び北海道電力ネットワーク株式会社☞	・情報の共有☞ ・復旧における相互協力☞ ・連絡体制の確立☞ ・連携訓練等の実施☞ ・重要施設の優先供給☞			